



小島 久典

[2004年度卒業／56回生]

東京藝術大学大学院美術研究科
文化財保存学専攻保存修復彫刻
研究室 非常勤講師 博士(文化財)
文化財修復

1986年 広島市生まれ

2010年 東京藝術大学美術学部彫刻科卒業
2015年 同大学院文化財保存学専攻 博士後期課程(保存修復研究領域)
修了

現在 同大学院保存修復彫刻研究室の
助手を経たのち、非常勤講師として勤務。仏像を中心とした古
典彫刻文化財の調査研究や修復、復元制作などを手がけるほか、自身の作品も発表している。

最近の主な活動

茨城県善法寺金剛力士立像修復／福島県
磐梯町慧日寺薬師如来坐像復元制作／東
大寺本坊・三井記念美術館・ジャパン・
ハウス ロンドンでの作品展示／V&A
Museum・春日大社等での講演など。

文化財保護の担い手として

私は2001年に創造表現コースへ入学したのちしばらく油絵を描いていましたが、小1の頃からプラモデルばかり作ってきたこともあり自然と立体作品へ興味が移っていました。基高在学当時はまだ彫刻科出身の先生がいらっしゃらず、模刻や首像制作など、数少ない彫刻科志望の同級生と工夫しながら制作していました。一浪して入った大学では木彫に没頭し、大学院で古典彫刻の世界に触れてからは仏像の修復や研究、失われた文化財の復元制作などを行っています。文化財修復で

は、木彫や彩色の技術、材料学、日本史・美術史に関する知識なども必要ですが、基高高校での幅広い課題や大きな展覧会、さらに実技だけでなく学科も深く学べたこと、果ては友人と自転車で中国四国をまわったことまで、現在の自分の大きな糧になっていると感じます。なによりも、面白い先生方・凄い先輩・同じ美術を志す友人に出会えた場所であるということを、卒業後時が経つほどに実感しています。



鎌倉期の納入品の開封



光背（阿弥陀如来像）の修復



善光寺仁王門諸像の調査